

冨井大裕

TOMII Motohiro

1973 新潟県生まれ

1997 武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業

1999 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻彫刻コース修了（修了制作優秀賞受賞）

1999 第4回アート公募2000審査員大賞受賞

2015 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてニューヨークに滞在（ー2016年）

神奈川県在住

個展

2017 「スケッチ」代田橋 納戸／gallery DEN5（東京）

2017 「像を結ぶ」Yumiko Chiba Associates viewing room Shinjuku（東京）

2016 「つまずきとふみこみ|その混乱」Roots & technique（山形）

2015 「粘土の為のコンポジション」Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku（東京）

2014 「SHOW-CASE project No.1：3個の消しゴム」慶應義塾大学アート・センター（東京）

2014 「daily composition」Art Center Ongoing（東京）

2014 「繊維街 日本橋」NICA Nihonbashi Institute of Contemporary Arts（東京）

2014 「SHOW-CASE project No.0：Blind Composition」慶應義塾大学アート・センター（東京）

2013 「透過と積層」ELTTOB TEP ISSEY MIYAKE（東京）

2013 「直線と周囲」switch point（東京）

2013 「繊維街」N-MARK B1（愛知）

2013 「combine-still-」Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku（東京）

2012 「つくること理由」Gallery Kart（東京）

2012 「衣服」switch point（東京）

2012 「4つの仕事」Art Center Ongoing（東京）

2011 「taking bump」switch point（東京）

2011 「5×14」NADiff Window Gallery（東京）

2011 「色と形を並べる」ラディウム-レントゲンヴェルケ（東京）

2010 「鉛筆のテーブル」switch point（東京）

2010 「つくるために必要なこと」金沢美術工芸大学アートギャラリー（石川）

2010 「ball pipe ball」玉川大学 Tamagawa Art Gallery Projects（東京）

2010 「STACK」NADiff Gallery（東京）

2010 「作品展」NADiff a/p/a/r/t 店内（東京）

2010 「catch as catch can」現代HEIGHTS Gallery DEN（東京）

2009 「新作展」switch point（東京）

2009 「かみの仕事」Art Center Ongoing（東京）

2009 「copy boy」ギャラリー現（東京）

2008 「みるための時間」switch point（東京）

2008 「身の回りのものによる色とかたち」遊戯室（中崎透+遠藤水城）（茨城）

2008 「企画展＝収蔵展」アーカス・スタジオ（茨城）

2007 「みるための時間」武蔵野美術大学美術資料図書館・民俗資料室ギャラリー（東京）

2007 「aMプロジェクト ON THE TRAIL vol.2」art space kimura ASK?（東京）

2007 「まると四角」switch point（東京）

2007 「世界のつくりかた」art & river bank（東京）

2006 「出会い直し」 switch point (東京)
2006 ギャラリー現 (東京)
2005 「仮眠的」 中崎透遊戯室 (東京)
2005 「空白の作り方」 U8 Projects (愛知)
2005 CAS (大阪)
2005 「いつものこと」 switch point (東京)
2004 「荷物 baggage」 switch point (東京)
2004 シリーズ展「THE COVER」 ZaGallery有明 (東京)
2003 「世界の真上で」 art & river bank (東京)
2002 「隣の夢」 なるせ美術座 (東京)
2002 「周辺と周縁」 モリスギャラリー (東京)
2002 「早送り、巻戻し、」 ZaGallery有明 (東京)
2001 「ありさま」 マキイマサルファインアーツ (東京)
2001 「ある」 藍画廊 (東京)
2000 「あけすけ」 (第4回アート公募2000審査員大賞展) モリスギャラリー (東京)
2000 「モノローグ」 松明堂ギャラリー (東京)
1999 「煙の点」 ギャラリー現 (東京)
1999 「見えない部屋」 ガレリアラセン (東京)
1999 「ものかたち」 なるせ美術座 (東京)
1998 「周辺のかたち」 ギャラリー現 (東京)

グループ展

2017 「AGAIN-ST第6回展 平和の彫刻」 NADiff Gallery (東京)
2017 「バズリアル」 TOJINシェアハウス (佐賀)
2017 「パースペクティヴ (1)」 インターメディアテク (東京)
2016 「アートフェアキワマリ2016」 水戸のキワマリ荘 (茨城)
2016 「つらなるかたち」 清津倉庫美術館 (新潟)
2015 「アーティスト・ファイル2015 隣の部屋-日本と韓国の作家たち」 国立新美術館 (東京)、韓国国立現代美術館 (ソウル、韓国)
2015 「引込線2015」 旧所沢市立第2学校給食センター (埼玉)
2015 「カメラのみぞ知る」 Yumiko Chiba Associates viewing room Shinjuku (東京)
2015 「単位展」 21_21 DESIGN SIGHT (東京)
2015 「エディションワークス Prints & Originals」 GALLERY SPEAK FOR (東京)
2015 「メルド彫刻の先へ [彫刻と記録]」 前橋文化研究所 (群馬)
2014 「複々線」 現代HEIGHTS Gallery DEN (東京)
2014 「METAPLAY, PRAHA-TOKYO」 Galerie Kritiků (プラハ、チェコ)
2014 「棚展」 ヴィラ棚201 (東京)
2014 柳瀬荘アート・教育プロジェクト「アウェーゲームー茶碗に勝てるかー」 柳瀬荘 (埼玉)
2014 「愉快」 現代HEIGHTS Gallery DEN (東京)
2014 「MOTコレクション コンタクト」 東京都現代美術館 (東京)
2014 「Drawing03 ーpreference」 渋谷画廊 (東京)
2014 「道草」 現代HEIGHTS Gallery DEN (東京)

2014 「AGAIN-ST第4回展 置物は彫刻か？」東北芸術工科大学 7FGallery (山形)

2014 竹尾ペーパーショウ2014「SUBTLE」TOLOT/heuristic SHINONOME (東京)

2014 「FUCHU OF MADNESS」LOOP HOLE (東京)

2014 「白川昌生 ダダ、ダダ、ダ 地域に生きる想像☆の力」アーツ前橋 (群馬) ※白川昌生とのコラボレーションで参加

2014 「ニイガタ・クリエーションー美術館は生きている」新潟市美術館 (新潟)

2013 「ポップ&ウィーダ」東京芸術大学 YUGA Gallery、立体工房 (東京)

2013 「ジェロニモ」TURNER GALLERY (東京)

2013 「MOTコレクション つくる、つかう、つかまえるーいくつかの彫刻から」東京都現代美術館 (東京)

2013 「AGAIN-ST第3回展 Dependent sculptureー彫刻を支えるものは何かー」東京芸術大学絵画棟1階アートスペース1 (東京)

2013 「引込線 2013」旧所沢市立第2学校給食センター (埼玉)

2013 「マンハッタンの太陽 THERMODYNAMICS OF THE SUN 光学芸術から熱学芸術への拡張：18世紀から21世紀の“太陽画”の系譜」栃木県立美術館 (栃木)

2013 「N+N展2013 アートいないいないばあーアートの思考法ー」練馬区立美術館 (東京)

2013 「シリーズ・川崎の美術 響きあうアート」川崎市市民ミュージアム (神奈川)

2013 「AGAIN-ST第2回展 「首像」ー自問するメディアとしての彫刻」日本大学芸術学部アートギャラリー、A&Dギャラリー、Chika Ecoda (東京)

2013 「Omnilogue: Your Voice is Mine」シンガポール国立大学美術館 (シンガポール、シンガポール)

2013 「空似」現代HEIGHTS Gallery DEN (東京)

2012 「岡山芸術回廊特別展 つながるけしき」岡山後楽園、岡山県立美術館 (岡山)

2012 「柳瀬荘アート・教育プロジェクト」柳瀬荘 (埼玉)

2012 「ジェロニモ」TURNER GALLERY (東京)

2012 「武蔵野美術大学大学院造形研究科彫刻コース展示 | 視差をしくむ」武蔵野美術大学 FAL (東京)

2012 「開港都市にいがた 水と土の芸術祭2012」万代島旧水揚場 (新潟)

2012 「AGAIN-ST第1回展“AGAIN-ST”」東京造形大学CSギャラリー (東京)

2012 「アウトレンジ2012」文房堂ギャラリー (東京)

2012 「460人展」名古屋市民ギャラリー矢田 (愛知)

2012 「RYUGU IS OVER!!ー竜宮美術旅館は終わります」竜宮美術旅館 (神奈川)

2011 「ART & PRODUCT“アートとプロダクトの不穏な関係”」AI KOWADA GALLERY (東京)

2011 「岡山芸術回廊」岡山後楽園 (岡山)

2011 「再考現学/Re-Modernologio phase2:観察術と記譜法」国際芸術センター青森 (青森)

2011 「柳瀬荘アート・教育プロジェクト」柳瀬荘 (埼玉)

2011 「呼びとめられたものの光」名古屋ボストン美術館 (愛知)

2011 「所沢ビエンナーレ「引込線」2011」所沢市生涯学習推進センター、旧所沢市立第2学校給食センター (埼玉)

2011 「横浜トリエンナーレ2011 OUR MAGIC HOUR 世界はどこまで知ることができるか？」横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫 (神奈川)

2011 「新しい立体造形：富井大裕+照屋勇賢」旧ウォーク館 (前橋美術館建設予定地) (群馬)

2011 「彫刻・林間学校 アースバウンド」メルシャン軽井沢美術館 (長野)

2011 富井大裕+末永史尚「二人展」switch point (東京)

2011 「MOTアニュアル2011 Nearest Faraway | 世界の深さのはかり方」東京都現代美術館 (東京)

2011 「A POSSIBLE DIMENSION」PANTALOON (大阪)

2010 「富永大尚+末井史裕+富田大彰+森井浩裕+末田史彰+森永浩尚」switch point (東京)

2010 「近藤恵介・富井大裕 あっけない絵画、明快な彫刻」Gallery Countach Kiyosumi (東京)

2010 「柳瀬荘アート・教育プロジェクト」 柳瀬荘（埼玉）
2010 「間戸/WIND-OW」 MA2 Gallery（東京）
2010 秋田県大館市アートプロジェクト「ゼロダテ／大館展 2010」大館市 大町商店街（秋田）
2010 「気象と終身—寝違えの設置、麻痺による交通」アサヒ・アートスクエア（東京）
2009 「第1回所沢ビエンナーレ美術展—引込線—」西武鉄道旧所沢車両工場（埼玉）
2009 「アテンプト2 矢櫃徳三・久家靖秀・富井大裕・ジャンボスズキ」カスヤの森現代美術館（神奈川）
2009 「Inside Outline 富井大裕+奥村雄樹」KABEGIWA（東京）
2009 「変成態—リアルな現代の物質性」Vol.2 富井大裕×中西信洋「揺れ動く物性」ギャラリーαM（東京）
2009 「リニューアル」武蔵野美術大学美術資料図書館（東京）
2009 「壁ぎわ」現代HEIGHTS Gallery Den（東京）
2008 「BROKEN」TIME & STYLE MIDTOWN（東京）
2008 「5×5 イタヅ・リトグラフィック版画工房／リトグラフ・ポートフォリオ展」万国橋ギャラリー（横浜）
2008 「アートプログラム青梅 空気遠近法・青梅-U39」青梅織物工業協同組合施設（東京）
2008 「ニューバランス」gallery Archipelago（東京）
2008 「DRAWING」TIME & STYLE MIDTOWN（東京）
2007 「ニュー・ヴィジョン・サイタマ・7つの眼×7つの作法」埼玉県立近代美術館（埼玉）
2007 「pre」switch point（東京）
2007 「壁ぎわ」KABEGIWA（東京）
2006 「基準の技術」KABEGIWA（東京）
2006 「色と形」KABEGIWA（東京）
2005 「12 DIVERS AT THE MOUNTAIN GATE」旧山口履物店（東京）
2005 「MATERIAL MIXTURE」node cube（東京）
2005 「芸術の山/第0合/発刊準備公開キャンプ/立体編その1」NADiff（東京）
2005 「cat's heaven...!」gallery Archipelago（東京）
2005 「美術の星座 2005 Constellation of Art」ギャラリーくまい（東京）
2005 「字界へ—隘路のかたち—」長久手町文化の家（愛知）
2005 「深川HO-BOアート2」深川資料館通り商店街（東京）
2004 「conran show」OKADA STUDIO（愛知）
2004 「floating scale—「スケール」を巡る旅—」学食2F（愛知）
2004 「space」U8 Projects（愛知）
2003 「Small Works Exhibition」ZaGallery有明（東京）
2003 「葉展」藍画廊（東京）
2003 「Jin Session 2003 Vol.4 "off topic"」ギャラリー一人（東京）
2003 「PC2003」ZaGallery有明（東京）
2003 「アートと暮らす新世紀4 元気の素」ZaGallery有明（東京）
2002 「PC展」ZaGallery有明（東京）
2002 「GALERIA RASEN session」ガレリアラセン（東京）
2001 「minimum continuation // 継続」exhibit LIVE（東京）
2001 「GALERIA RASEN 2001」ガレリアラセン（東京）
2000 「美術の星座 Constellation of Art 1998-1999-2000」なるせ美術座（東京）
2000 「TRANSIT／経由・帯域」（第4回アート公募2000ガレリアラセン画廊企画賞展）ガレリアラセン（東京）
2000 丹羽陽太郎×富井大裕「机上の空論」ギャラリーマロニエ（京都）

- 2000 「GALERIA RASEN select 2000 Vol.2」 ガレリアラセン（東京）
1999 木村裕×富井大裕「存在の家—見知らぬ私のために—」メタル・アート・ミュージアム—光の谷—（千葉）
1999 「第4回アート公募2000」新木場SOKOギャラリー（東京）
1999 「ほどけない神経の鍵穴」ギャラリー那由他（神奈川）
1999 「武蔵野美術大学大学院修了制作選抜作品展」武蔵野美術大学美術資料図書館展示室（東京）
1998 「対話する器」ギャラリー那由他（横浜）
1997 富井大裕×丹羽陽太郎「Dramaturgie—すれ違う日常—」キッド・アイラック・アート・ホール（東京）

コミッションワーク

- 2008 日吉の家（設計 田中裕之建築設計事務所）（神奈川）

ワークショップ

- 2017 「ファウンドコンポジション」（佐賀大学芸術地域デザイン学部特別イベント「発生の場」関連企画）佐賀大学（佐賀）
2016 「ビジュツカンのまわりのフーケイからチョウコクをみつけて、ホントーのチョウコクをつくってみよう」神奈川県立近代美術館 葉山（神奈川）
2015 「彫刻と絵画をめぐるワークショップ—4人の色／9回のコップ」（近藤恵介との共同）国立新美術館（東京）
2014 「アーティストの一日学校訪問 | ファウンドコンポジション」（企画：東京都現代美術館）八王子市立川口小学校、武蔵野市立第三中学校、富士見ヶ丘高等学校、江東区立第四大島小学校、新宿区立鶴巻小学校、豊島区立高南小学校（東京）
2013 「彫刻と絵画をめぐるワークショップ」（近藤恵介との共同）川崎市市民ミュージアム（神奈川）
2012 「中村正義から、つくる」（近藤恵介との共同）川崎市市民ミュージアム（神奈川）
2012 「新潟市美術館の作品を紙でつくって、積み上げよう！」新潟市美術館（新潟）
2012 「紙でたてもの園をつくろう」江戸東京たてもの園（東京）
2012 「3つのかんけい もの・おと・からだ」（齊藤紘良、東山佳永との共同）練馬区立美術館（東京）
2011 「ACACで自分の彫刻をみつける」国際芸術センター青森（青森）
2011 「巨大静物をつくる」名古屋ポストン美術館（愛知）
2011 「彫刻と絵画をめぐるワークショップ」（近藤恵介との共同）東京都現代美術館（東京）
2010 「彫刻と絵画をめぐるワークショップ」（近藤恵介との共同）Gallery Countach Kiyosumi（東京）

その他

- 2016 イベント「ドローイング」blanClass（横浜）
2012 イベント「body work」blanClass（神奈川）
2010 イベント「can work, hand work, other work」blanClass（神奈川）
2009 作品展示「福永信フェア」ジュンク堂書店 新宿店（東京）
2009 作品展示「福永信フェア」ジュンク堂書店 池袋店（東京）
2008 版画集「壁ぎわ」（制作 Itazu Litho-Grafik）

パブリックコレクション

- 東京都現代美術館
- 新潟市美術館

【文献目録】

単行書

- ・ TOMII Motohiro 『the plurality and lightness』 Yumiko Chiba Associates、2015年
- >SUMITOMO Fumihiko 「On TOMII Motohiro: the plurality and lightness」 pp.35-40
- ・ 富井大裕 『another exhibition(niigata)』 富井大裕、2014年
- ・ 富井大裕 川村格夫 『5×14』 富井大裕、2013年
- ・ 田中功起 『質問する | その1 2009-2013』 アートイット、2013年
- >田中功起／富井大裕 「富井大裕さんとの往復書簡 | 『見る』 という行為が『作品である』ということに近づくとき、『作品』とはなにか、アーティストはなにをしているのか。」 pp.105-142
- ・ 野崎武夫 『仕事や人生や未来について考えるときにアーティストが語ること』 フィルムアート社、2013年
- >富井大裕 「富井大裕」 pp.40-43
- ・ 福永信 『こんにちは美術③ めくってたんけん！ いつでもあえる作品たちの巻』 岩崎書店、2012年
- >福永信 「美術館の壁で、黄金に輝く一枚の絵！」 n.page
- ・ Caroline Ha Thuc 『Nouvel art contemporain japonais』 Nouvelles Editions Scala、2012年
- >Caroline Ha Thuc 「Motohiro Tomii: la revelation du reel」 pp.12-13
- ・ 美術手帖編集部 『日本のアーティストガイド&マップ』 美術出版社、2011年
- >保坂健二郎 「解体と再構築のリアル リ・インストールされる世界2」 pp.60-61
- ・ 富井大裕 『Motohiro Tomii : works 2006-2010』 中山真由美、富井大裕、2011年
- >梅津元 「脱皮する彫刻ー〈見る〉ことから〈こぼれおちるもの〉」 pp.16-19
- ・ 富井大裕 『みるための本 (つばめブックス019)』 つばめブックス、2010年
- ・ 北澤憲昭＋杉田敦 『芸術表象コンセプトブック／アートプラットホーム』 美学出版、2010年
- >富井大裕／森田浩彰／杉田敦 「壁ぎわー脱物象化、あるいはモノからの逃走」 pp.106-132
- ・ Tokyo Source 『これからを面白くしそうな31人に会いに行った』 ピエ・ブックス、2008年
- >富井大裕 「どう作っているのか、というところが、僕にとっての彫刻なんです」 pp.94-102

展覧会カタログ

- ・ 『AGAIN-ST BOOK』 AGAIN-ST、2017年
- >富井大裕 「ポストスクリプト 富井>石崎:振り返ると首が居る」 p.31／富井大裕 「仏壇の為の基壇（先祖の為の免震台）」 pp.50-51
- ・ 『やってみよう、アート 国立新美術館ワークショップ記録集 2011年4月ー2017年1月』 国立新美術館、2017年
- > 「彫刻と絵画をめぐるワークショップ~4人の色/9回のコップ」 pp.62-63
- ・ 『引込線 railroad siding 2015』 引込線実行委員会、2015年
- >富井大裕 「作品解説」 p.39
- ・ 『アーティスト・ファイル2015 隣の部屋-日本と韓国の作家たち』 国立新美術館、2015年
- >米田尚輝 「オブジェクトとイメージの隣接性」 pp.16-19／南雄介 「世界への漸近線」 p.164
- ・ 『開館20周年記念MOTコレクション特別企画 コンタクト』 東京都現代美術館、2014年
- >鎮西芳美 「彫刻体験 カール・アンドレ×富井大裕」 p.11
- 『ニイガタクリエーションー美術館は生きているー』 新潟市美術館、2014年
- >塩田純一 「地域と創造。そして、『美術館は生きている』ということ。」 pp.4-7／富井大裕 [Works 富井大裕] p.34／荒井直美 「ニイガタ・クリエーションは可能か？」 pp.58-65
- ・ 『愉快アンソロジー』 愉快製作委員会、2014年
- >富井大裕 「猪木の腕固め、並走者、グループ展」 pp.18-19

- ・ 『SUBTLE サトル | かすかな、ほんのわずかな』 株式会社竹尾、2014年
- > 富井大裕「制作意図」 p.92
- ・ 『白川昌生 ダダ、ダダ、ダー地域に生きる想像☆の力』 アーツ前橋、2014年
- > 富井大裕、藤井光、中崎透 [白川昌生を語る] pp.91-101
- ・ 『引込線 railroad siding 2013 works』 引込線実行委員会、2013年
- > 富井大裕 [コメント] pp.61-62
- ・ 『MOTコレクション 第1部 私たちの90年 1923-2013 第2部 つくる、つかう、つかまえる—いくつかの彫刻から』 東京都現代美術館、2013年
- > 鎮西芳美「つくる、つかう、つかまえる—いくつかの彫刻から」 pp.5-8
- ・ 『マンハッタンの太陽 THERMODYNAMICS OF THE SUN』 栃木県立美術館、2013年
- > 山本和弘 [出品アーティスト略歴など] p.122
- ・ 『Omnilogue | 記録』 国際交流基金、2013年
- > 藪前知子「『あなたの声は私の声』という瞬間」 pp.10-11 / 池上司「美術に対して目を開く」 pp.14-15 / ミッシェル・ホー+ シャビール・フセイン・ムスタファ「沈思雑談」 pp.44-47
- ・ 『3つのかんけい もの・おと・からだ 記録集』 練馬区美術館、2013年
- ・ 『岡山芸術回廊 記録集』 おかやま県民文化祭実行委員会、2013年
- > 高嶋雄一郎 [作家解説] p.43
- ・ 『開港都市にいがた 水と土の芸術祭2012 作品記録集』 水と土の芸術祭実行委員会、2013年
- ・ 『空似アンソロジー』 空似製作委員会、2013年
- > 富井大裕「思ったことをつぶやき続ける」 pp.14-15
- ・ 『「再考現学/Re-Modernologio」 phase2: 観察術と記譜法』 青森公立大学 国際芸術センター青森、2012年
- > 服部浩之「複眼世界の建築法」 pp.3-4 / 「found composition 瞬発的観察術による彫刻法」 pp.5-7
- ・ 『武蔵野美術大学大学院造形研究科彫刻コース展示 | 視差をしくむ』 武蔵野美術大学彫刻学科研究室、2012年
- > 高島直之「世界の〈連環〉と〈隔たり〉—富井大裕に寄せて」 pp.8-9
- ・ 『460人展』 460人展実行委員会、2012年
- ・ 『ヨコハマトリエンナーレ2011 記録集』 美術出版社、2012年
- ・ 『ヨコハマトリエンナーレ2011 OUR MAGIC HOUR—世界はどこまで知ることができるか?—』 美術出版社、2012年
- > 三木あき子「OUR MAGIC HOUR—世界はどこまで知ることができるか?—」 pp.59-66
- ・ 『所沢ビエンナーレ「引込線」2011』 所沢ビエンナーレ実行委員会、2011年
- ・ 『呼びとめられたものの光』 名古屋ポストン美術館、2011年
- ・ 『MOTアニュアル2011 Nearest Faraway | 世界の深さのはかり方』 東京都現代美術館、2011年
- > 鎮西芳美「Nearest Faraway | 世界の深さのはかり方」 pp.12-32
- ・ 『変成態—リアルな現代の物質性』 武蔵野美術大学、2011年
- > 天野一夫「変成態のために—『彫刻』の現在」 pp.8-21 / 天野一夫「揺れ動く物性」 p.68 / 富井大裕「作られるものの定義」 p.70
- ／ [第1回シンポジウム] pp.145-170 / [アーティストトーク] pp.171-181
- ・ 『富永大尚+末井史裕+富田大彰+森井浩裕+末田史彰+森永浩尚』 switch point、2011年
- > 成相肇「引用は後出しジャンケンではない」 n.page / 「まだ見ていない健闘を称えて—展示に向けて」 n.page
- ・ 『字界へ—隘路のかたち』 長久手町、2009年
- > 水野永遠 [作家解説] p.19
- ・ 『空気遠近法・青梅-U39』 アートプログラム青梅実行委員会、2009年
- ・ 『第1回所沢ビエンナーレ美術展—引込線—』 所沢ビエンナーレ実行委員会、2009年
- ・ 『New Visions Saitama III Documents』 埼玉県立近代美術館、2007年

>梅津元「『もどかしさの彼方で』」pp.36-41

- ・『aMプロジェクト2007 ON THE TRAIL Vol.2 富井大裕』武蔵野美術大学、2007年

>鷹見明彦「架空の通販カタログには…」p.1

- ・『ARCUS Project 2007 IBARAKI富井大裕「企画展＝収載展」』アーカス・スタジオ、2007年

>遠藤水城「世界を素晴らしい台座にして、台座を素晴らしい世界にすること」pp.34-35

- ・『新世代への視点2006 画廊からの発言』東京現代美術画廊会議、2006年

逐次刊行物

- ・富井大裕/近藤恵介「刈り込まれた木」『なnD』5、2017年3月、pp.8-13
- ・富井大裕「中原浩大の造形」『美術手帖』Vol.66 No.998、2014年1月、p.110
- ・「近藤恵介・富井大裕 あっけない絵画、明快な彫刻〈再展示〉」『なnD』1、2013年4月、pp.38-39
- ・富井大裕「実体としてのツッコミ」『美術手帖』Vol.63 No.961、2011年12月、p.201
- ・「21世紀のアーティスト」『ギャラリー』no.310、2011年2月号、pp.53-57
- ・嶋崎吉信「書とアートでものあはせ」『墨』207号、2010年11・12月号、pp.120-121
- ・藤島俊会「著作権強調し独自性」『新潟日報』2009年2月7日
- ・「彫刻言語—彫刻」『REAR』no.19、2008年8月、pp.41-44
- ・藤島俊会「言葉とモノに隔たり」『新潟日報』2007年9月3日
- ・中村麗「イマジナル・ボール」『MMJ』2005年7月
- ・「アーティストになること」『美術手帖』Vol.57 No.863、2005年4月、pp.185-188
- ・奥村雄樹「富井大裕」『美術手帖』Vol.56 no.854、2004年9月、p.194
- ・藤島俊会「暗示に富んだ作品群」『新潟日報』2004年8月7日
- ・提髪明男「intercommunication」『書道界』2003年2月、pp.50-51
- ・藤島俊会「現代人の心の揺らぎを表現」『新潟日報』2001年7月25日
- ・藤島俊会「美術としてのあり方示す」『新潟日報』2001年3月3日
- ・提髪明男「intercommunication」『書道界』2000年8月、pp.56-57
- ・藤島俊会「まじめと遊びが共存する飛躍」『新潟日報』2000年6月3日
- ・藤島俊会「“疑念、に心くぎ付け」『新潟日報』2000年6月3日

Web

- ・富井大裕「明快な絵画、あっけない彫刻」『近藤恵介・富井大裕 あっけない絵画、明快な彫刻』まとめサイト、2011年4月
- ・近藤恵介「完成を更新する」『近藤恵介・富井大裕 あっけない絵画、明快な彫刻』まとめサイト、2011年4月
- ・富井大裕「丁寧であること」『近藤恵介・富井大裕 あっけない絵画、明快な彫刻』まとめサイト、2011年4月
- ・近藤恵介「経緯のこと」『近藤恵介・富井大裕 あっけない絵画、明快な彫刻』まとめサイト、2011年4月
- ・成相肇「作品による作品の解釈と、富井さんの半分の作品の話（近藤さんと富井さんの展示から教わったこと）」『近藤恵介・富井大裕 あっけない絵画、明快な彫刻』まとめサイト、2011年4月
- ・田中功起／富井大裕「『見る』という行為が『作品である』ということに近づくと、『作品』とはなにか、アーティストはなにをしているのか。」『田中功起 質問する』ART iT、2010年7月-12月
- ・藤田千彩「富井大裕インタビュー」PEELER、2010年7月
- ・近藤ヒデノリ「富井大裕インタビュー」Tokyo Source、2006年2月
- ・藤田千彩「富井大裕インタビュー」PEELER、2005年9月

展覧会リーフレット

- ・ [アンケート] 『AGAIN-ST第6回展 平和の彫刻』 2017年、n.page
- ・ [アンケート] 『AGAIN-ST第4回展 置物は彫刻か?』 2014年、n.page
- ・ 『SHOW-CASE project No.1 富井大裕 3個の消しゴム』 慶應義塾大学アート・センター、2014年、n.page
- ・ 『SHOW-CASE project No.0 富井大裕 Blind Composition』 慶應義塾大学アート・センター、2014年、n.page
- ・ 林卓行「どうでもいいものをなせ」 switch point、2013年、n.page
- ・ [アンケート] 『AGAIN-ST第3回展 Dependent sculpture—彫刻を支えるものは何か—』 2013年、n.page
- ・ 『Kart Invitation Program Vol.3 富井大裕「つくることの理由」』 Gallery Kart、2013年、n.page
- ・ 森啓輔「空ろの人体」 switch point、2012年、n.page
- ・ 住友文彦 switch point、2011年、n.page
- ・ 森啓輔「彫刻／絵画の自己言及性について」／富井大裕「switch pointという場所」 『富井大裕＋末永史尚「二人展」』 switch point、2011年、n.page
- ・ 小松崎拓男「美術について、あるいは富井大裕の作品について」 switch point、2010年、n.page
- ・ 福永信「富井大裕さんの新作個展に寄せて」 switch point、2009年、n.page
- ・ 天野一夫「揺れ動く物性 富井大裕×中西信洋」 『aMプロジェクト2009「変成態—リアルな現代の物質性」Vol.2』 2009年、n.page
- ・ 小川希「『世界のすべて』を通して見えるもの」 Art Center Ongoing、2009年
- ・ 『NEW BALANCE : Tomii Motohiro/Murabayashi Motoi/Suenaga Fuminao/Tanaka Hiroyuki』 Gallery Archipelago、2008年、n.page
- ・ 林卓行「〈なり〉で」 switch point、2008年、n.page
- ・ 成相肇「ぼやけた彫刻」 switch point、2007年、n.page
- ・ 石崎尚「彫刻的な正しさ」 switch point、2006年、n.page
- ・ 天野一夫「物の新『使用法』—富井大裕のために」 『富井大裕展』 特定非営利活動法人CAS、2005年、n.page
- ・ 藤田六郎「制作における不自由と自由、および富井作品の大きさについて」 switch point、2005年、n.page
- ・ 林卓行 switch point、2004年、n.page

プレスリリース

- ・ 富井大裕 [作家ステートメント] 『像を結ぶ』 Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、2017年
- ・ 富井大裕 [作家ステートメント] 『粘土の為のコンポジション』 Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、2015年
- ・ 富井大裕「combine」 『combine -still-』 Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、2013年
- ・ 富井大裕「直線と周囲」 「つまらない話」 『直線と周囲』 switch point、2013年
- ・ 富井大裕「衣服について」 『衣服』 switch point、2012年
- ・ 富井大裕「受け身を取る」 『taking bump』 switch point、2011年
- ・ 富井大裕『あっけない絵画、明快な彫刻 近藤恵介・富井大裕』 Gallery Countach Kiyosumi、2010年
- ・ 富井大裕「鉛筆のテーブル」 『鉛筆のテーブル』 switch point、2010年
- ・ 富井大裕「みるための時間」 『みるための時間』 switch point、2008年
- ・ 杉田敦「世界のつくりかた」 『世界のつくりかた』 art & river bank、2007年
- ・ 杉田敦「世界の真上で」 『世界の真上で』 art & river bank、2003年

Artist's Website <http://tomiimotohiro.com>

YUMIKO CHIBA ASSOCIATES <http://www.ycassociates.co.jp>

switch point <http://www.switch-point.com>

壁ぎわ <http://www.kabegiwa.com>